



学校だより

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamishirane/>

令和8年8月27日
横浜市立上白根小学校
【8・9月号】



一生ものの仲間

校長 小嶋 一喜

自然災害が起きた夏。熊本地震や千葉の豪雨で亡くなられた方のご冥福をお祈りすると共に、被災された方が一刻も早い日常生活が戻るように心から願うところです。

夏休み前の集会で、今年も夏休みが**あける**まで、**あんぜん**に、**けんこう**に過ごしてほしいと子どもたちに伝えました。幸いにも、上白根小学校の子どもたちが事故にあったという連絡を受けることはありませんでした。皆さんが健康に安全に過ごせたことに安堵しています。

今年の夏、私が最も印象に残った出来事は、23年前の教え子と会う機会があったことです。1学年で38人の1クラスのみで、4年生から6年生まで3年間クラス替えもありませんでした。23年たって、身長が低い方だった子どもが大きくなり3人の子の親となっていたり、しっかりものだった子が海外で生活をしていたり、大好きなキャラクターがあった子が、そのキャラクターにかかわる仕事についていたり、大きな変化というか成長を感じました。変わらないなと思ったことは声でした。聞こえてくる会話から、当時のクラスの様子を思い出させてもらいました。けんかも多かったクラスですが、仲良く1クラスで3年間過ごしていた楽しいよい思い出が多く、子どもたち（今は大人ですが）も、懐かしい思い出話や子育ての話などで、大変盛り上がっていました。

今回集まった目的は、卒業の時に残したタイムカプセルを開けることでした。一人350mLくらいの缶に、思い出のものやいろいろな質問の答え、未来の自分へのメッセージなどを入れて詰めたものです。わくわくしながら開けて中に入っていたものを見ると、笑顔で「こんな自分だったんだ。考えも幼いな。」と成長をした自分自身を感じているようでした。そんな姿を見ると、私もうれしい気持ちでいっぱいになりました。

本校、今年度は学年全体を複数の担当がかかわる学年担当制を行っています。個別支援級は学年の枠を超えての4クラスなので4人が担当です。子どもたちが同じ学年の仲間とのかかわりやなかよし班でのかかわりを今後も大切に、一生ものの仲間となるようにしたいです。

8月下旬や9月に入っても、残暑が厳しい予測がでています。全職員で子どもたちの様子をしっかりと把握し、健康に安全に、素敵なかかわりが多くなるように見守っていきます。